

ポリエチレンカッタ I-50 取扱説明書

■はじめに

ポリエチレンカッタ I-50 をご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、十分理解した上で、正しくお使い下さい。

品名	品番
ポリエチレンカッタ I-50	PEI-50

この取扱説明書は、ポリエチレンカッタ I-50 を安全にお使い頂き、あなたや他の人々への危害と財産への損害を未然に防ぐために守って頂きたい事項が記載されております。お読みになった後は、ポリエチレンカッタ I-50 (以後、カッタ) をご使用される方が、いつでもお読みになれるように、保管しておいて下さい。

わかり易くするための表示と図記号の意味は、次のようになっていますので内容をよく理解してからお読み下さい。

△警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しております。
△注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示しております。

なお、「△注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも、安全に関する重要な事項が記載されていますので、必ずお守り下さい。

■使用目的

水道配水用ポリエチレン管、給水用高密度ポリエチレン管、ガス用ポリエチレン管、硬質ポリ塩化ビニル管、耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管、給水設備用ポリエチレン管 の切断用工具。

■使用対象管

対象管 (規格)	呼び径	外径基準寸法
水道配水用ポリエチレン管 (PWA001) (JWWA K144)	50	60 mm 63 mm
給水用高密度ポリエチレン管 (PWA005)	20~50	27~60mm
ガス用ポリエチレン管 (JIS K6774)	25~50	34~60mm
硬質ポリ塩化ビニル管 耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K6741)	20~50	26~60mm
給水設備用ポリエチレン管 (JP K 001)	20~40	27~50mm

※本商品の仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

■安全上のご注意

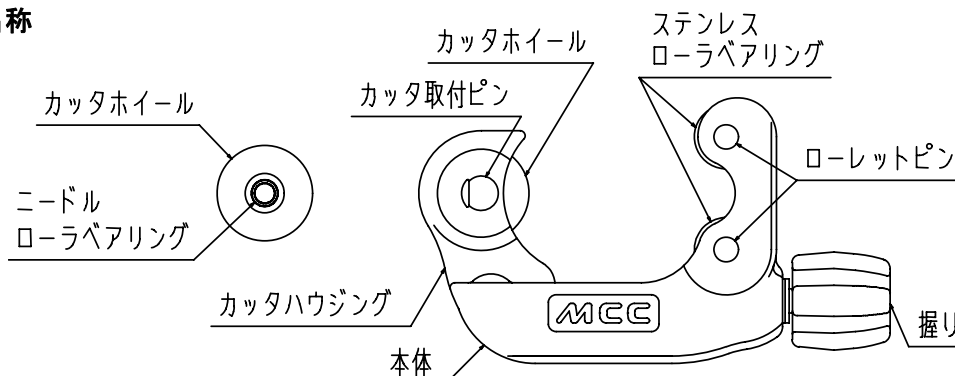
△ 警告

- ①このカッタの刃(以後カッタホイール)は大変鋭利になっています。けがをする恐れがありますので、直接、手指で触れないように注意して下さい。切断作業時および、刃交換時には必ず保護手袋を着用して下さい。
- ②切断作業の際には安全靴を着用して下さい。切断終了時に管と工具が一体で落下した場合、大きな災害につながる可能性がありますので、管下部を支えるなどの措置をとって下さい。

△ 注意

- ①カッタを落下させないで下さい。破損又は機能に支障が発生する恐れがあります。
- ②この取扱説明書に記載された使用目的、仕様の範囲でご使用下さい。カッタを改造したり、使用目的を逸脱することはしないで下さい。カッタの故障原因となるばかりか、事故を誘発する恐れがあります。
- ③カッタ及び管に付着している土や異物は取り除いてから使用して下さい。カッタ及び管に土や異物が付着したまま切断作業をするとカッタホイールが破損したり、切断面が変形する原因となります。
- ④カッタの各部分は常に注油・点検を行い、損傷のある状態では使用しないで下さい。

■各部の名称



■作業の前に（日常の点検・メンテナンス）

- ①カッタ各部に異物の付着がないか点検し、異物が付着していれば取り除いて下さい。
- ②カッタのベアリング部など可動部分へ注油して下さい。動きをスムーズにし、摩擦を抑える効果があります。
- ③カッタのベアリング部など可動部分がスムーズに動くか、破損していないか、ローレットピン・カッタ取付ピンの脱落はないかなどを点検し、異常があれば修理をご依頼下さい。
- ④カッタホイールを点検し、欠けがあればカッタホイールを交換して下さい。

■操作方法

（１）操作手順

- ①管に付着している土や汚れなどを取り除いて下さい。
- ②「握り」を **左回し** して「カッタホイール」を管の外径より開いて下さい。（図１）
- ③カッタのベアリング部を管にあてがって下さい。（図２）
- ④「握り」を **右回し** して「カッタホイール」が管に少し喰込むまで送り込んで下さい。（図３）

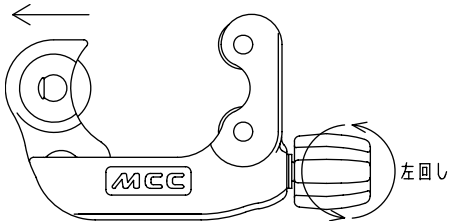


図 1

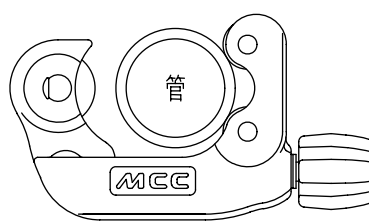


図 2

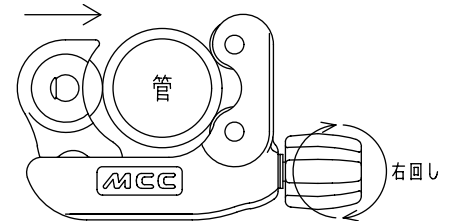


図 3

- ⑤カッタを前後に約90°程度の範囲で2～3回往復し、ベアリング部と「カッタホイール」を管になじませて下さい。（図４）
 - ・注：カッタの「ステンスローラベアリング」4個が確実に管に接していないと、真直ぐに切断できない場合があります。
- ⑥カッタを矢印の方向に回しながら、1回転ごとに「握り」を **右に約半回転** させて徐々に切り込み切断して下さい。（図５）
 - ・注：カッタを一回転した時点で最初の切り込みラインと合わない場合があります。その場合は更にもう一回転させると最初の切り込みラインに戻ります。
 - ・注：切り込みを一度に深くしすぎると、切断荷重が大きくなり「カッタホイール」が破損する場合があります。

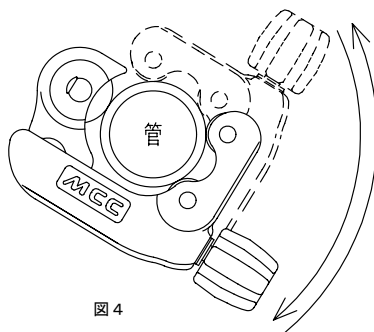


図 4

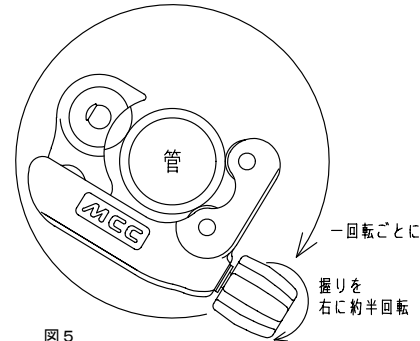


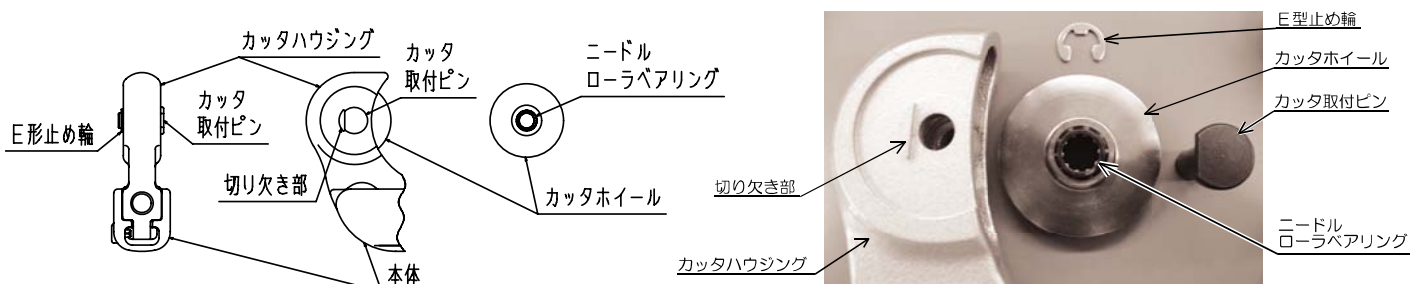
図 5

■替刃（カッタホイール）

替刃をお買い求めの際は、「PEE75」とご指定下さい。

◆交換手順

- ①保護手袋を着用して下さい。
- ②マイナスドライバなどで「E形止め輪」を取り外して下さい。
- ③「カッタ取付ピン」を抜き取り、古い「カッタホイール」と「ニードルローラベアリング」を取り外して下さい。
- ④取り外した「ニードルローラベアリング」を、新しい「カッタホイール」に入れ替えて下さい。
- ⑤新しい「カッタホイール」を逆の手順で取り付けて下さい。
 - ・注：「カッタ取付ピン」の切り欠き部と「カッタハウジング」の切り欠き部を合わせて下さい。



株式会社 MCCコーポレーション
株式会社 松阪鉄工所

☎ (059) 234-2454
<http://www.mccc corp.co.jp>